令和８年１月三浦市教育委員会定例会会議録

〇日　　時　令和８年１月 23 日（金）　午後３時 00 分～午後４時 00 分

〇場　　所　三浦市役所第２分館　教育委員室

〇次　　第

１　開　　会

２　会議録の承認

３　署名委員の指名
　　石　渡　博　幸　委員、　村　山　智　洋　委員

４　教育長報告
⑴　湘南三浦教育事務所管内の教育長会議等について
⑵　仕事始め式等の行事について

５　報告事項
⑴　令和７年 12 月の後援名義等使用について（資料１）
⑵　学校給食費の改定について（資料２）

６　その他の事業について
⑴　令和８年（令和７年度）三浦市「はたちのつどい」の開催結果について（資料３）
⑵　第 29 回三浦市学校給食展の開催について（資料４）

７　そ の 他

８　閉　　会

〇出席者（５名）

教　育　長	及　川　圭　介
教育長職務代理	石　渡　博　幸
委　　員	村　山　智　洋
委　　員	川　名　大　介
委　　員	廣　瀬　牧　実

〇欠席者（０名）

〇説明のために出席した職員

教　育　部　長	鈴　木　基　史	教育総務課長	浦　西　伸　一
学校教育課指導主事	金　城　賢　太	青少年教育課長	南　雲　哲　也
学校給食課長	武　田　健　二		

〇事務局出席者

教育総務課グループリーダー	阿　井　俊　弥	教育総務課主事	澤　　花　帆

〇傍　聴（０名）

◇　午後３時 00 分　開会　◇

○及川教育長　　それでは皆さんこんにちは。

ただいまより令和８年１月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆様のお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関する皆様の御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて御承認をいただきたいと思います。

それでは修正等につきまして、御意見ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

（発言等なし）

○及川教育長　　よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和７年 12 月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○及川教育長　　ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に石渡委員と村山委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○及川教育長　　それでは続きまして、次第４「教育長報告」をさせていただきます。

今回、教育長が集まっての会議といたしましては、１月 19 日月曜日に湘南三浦教育事務所管内の教育長会議がありました。この会議につきましては、施設見学ということも兼ねまして、鎌倉市立由比ガ浜中学校で開催されました。ここは学びの多様化学校ということで、今年度４月に開校したところでありますけれども、鎌倉市立御成中学校の分校ということであります。

会議の内容といたしましては、年度末・年度始めの人事に関する現時点での情報提供がありました。また、児童生徒の問題行動調査の結果報告ということなどが行われたところであります。

そして、そのあとそれぞれの市町の状況などについて、情報交換をしたところであります。１つは施設の老朽化ということが多く話題に上りまして、三浦市だけではなく、藤沢市なども市内に 55 校、小中学校がありまして、今の計画としては５年に１校ずつ新しくというようなことで進めているようですが、老朽化が進む中ではそのペースでは心配な部分もあるというふうなことでした。

先ほど申し上げたように今回の会議については、鎌倉市立由比ガ浜中学校、新しくできた学校ですけども、施設についての話題も出まして、２階建ての校舎です。分校ですので、特別教

室の理科室ですとか家庭科室ですとか、そういう教室は本校である鎌倉市立御成中学校にあるということで設けていません。また、校庭、体育館などについても本校にあるということなので、そういう特別な事情があるんですけれども、校舎の施設については、スーパープレハブというものを使って建てていて、５億円という費用で建設をしたということなんですね。今までは学校というと鉄筋コンクリートで建築をしているわけなんですけども、そういう発想を持って、校舎を考えていくっていうことも必要になってくるのではないかというふうな話題も出ておりました。

そのほか、先ほど申し上げたように学びの多様化学校ということで不登校の子どもたちを対象にした学校でありますので、不登校対策という話にもなりまして、私からは三浦市の相談指導教室を拡充しながらですね、不登校の子どもたちへの対応ということを今後さらに積極的に進めていきたいということなどの話もしたところであります。

また、教員の確保ということの話題にもなりまして、様々な事情で長くお休みになる方の後任などになかなか苦労しているというふうなことが現状としてあるわけですけども、そうした中で鎌倉市は人材派遣の会社などと連携をしながら、県内だけでなく県外からも教員を市が雇用するようなことも積極的に行っているということでした。今年度については 10 名でそれを３年度計画で 30 名まで拡大していくと、各学校に１名プラスで配置ができるということなので、いろんな手立てを講じながら学校配置の教員を増やすということを鎌倉市では進めているということでした。

その予算、人件費の確保ですけども、こちらについては給食費の無償化をしないということで、そういうことに充てる代わりに教育の質の向上ということのために市で教員の雇用を図っていくということを方針として持っているということなんですね。三浦市の場合は給食費半額補助ということで、それぞれの家庭の経済的な負担を軽減していくということで行っているものですけれども、そういう家庭支援ということではなく、教育の質を向上させるという視点で予算を使うことにしているというようなお話もありました。

そのほか会議といたしましては、教育長が集まってということではないんですけども、教育委員にも参加いただく会議として、文部科学省主催の令和７年度市町村教育委員会研究協議会が 16 日金曜日に行われまして、これは今年度後期のものになりますけれども、石渡委員に参加していただいたところであります。このことについては、後ほどその他のところで報告していただくということになりますのでよろしくお願いしたいと思います。

また、行事に関してでありますけれども、年が明けまして、１月５日月曜日ですけども仕事始め式が行われました。

翌日の６日火曜日には新年祝賀式が行われまして、そのあと消防出初め式の観閲パレードが行われました。この観閲パレードにつきましては、初声小学校の児童の希望者ということになりますけども、参加をいただいているところであります。昨年は剣崎小学校の閉校ということがありましたので、剣崎小学校、南下浦小学校の子どもたちの希望者ということで参加をいただいておりまして、今年度は初声小学校、来年度につきましては、三崎地区の小学校の子どもたち、希望参加ということで行われる予定であります。

また、１月 12 日に、はたちのつどいが行われました。教育委員の皆様にも御出席いただきましてありがとうございました。詳しい報告は担当からということでお願いしたいと思います。見ていただいたとおり、今年も落ち着いた式であったかなというふうに思っております。三浦

市の子どもたちは、やはり素直さというか、良さが出ていた式なのではないかなというふうに思っているところであります。

そして今後ということでありますけれども、来年度の予算編成も大詰めということで今進めておりまして、このことについては３月の議会において審議をされまして、最終日に来年度の予算を決定するということになる見通しであります。

３学期につきましては、学校については年度の締め括りの学期ということになりますけれども、中学校３年生については、高校入試があったり、又は小学校についても各年度末の行事と卒業式ということで、大きな行事が続いていきますけれども、この寒い時期、インフルエンザなどが流行してしまいがちな時期でもありますので、健康に留意しながら一つひとつ年度の締め括りということで進めていくことができればなと思っているとこであります。

教育長報告は以上になります。何か御質問等ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○石渡委員　教育長会議の中での情報交換で、鎌倉市で人材派遣会社と連携しながら教員を採用しているということですけど、市外とか他県といった広域にわたっての人材確保になっているのでしょうか。

○及川教育長　もちろん広域です。県内で奪い合うということはしません。そういうことがよろしくないということは鎌倉市でも承知をしていて、県の採用を受けようとしている人を引き抜くとかそういうことではなく、あくまでも広くということであります。

相模原市でも市独自で任用していますけども、その場合も県内で臨時的任用職員をやっているような人を引き抜くというふうな形ではなくということでありますので、県外の一般企業に勤めていて教員に関心のあるような人を採用することも視野に入れてやっているということであります。

そのほかいかがでしょうか。

○廣瀬委員　今の人員確保の話で産休、育休というようなことでの長期のお休みっていうこともあったんですけど、私も保育園で見ていると教員の方は２年間くらい取っていて、１年では戻らない方も多いような感じがするんですけど、三浦市では教員で育休など取られる方の場合は平均的にどのくらいの期間取られる方が多いんでしょうか。

○及川教育長　３歳まで取れますから３年間。それで次のお子さんが生まれると、さらに延長されるので、５、６年続けてお休みになっている方もいらっしゃいます。

最近は男性が取得するケースも増えてきています。それをどう受けとめながらフォローしていくかということを教育委員会が努力していくというふうになります。

○廣瀬委員　今は男性もほぼ皆さん取るようになってきていますね。

○及川教育長　市役所もそうですけどやはり公の立場として、取得を積極的に進めていくという姿勢を示すことが必要なのかなというふうに思っています。

○廣瀬委員　男性の場合、お休みの期間が１、２か月の方もいらっしゃるじゃないですか。そういう短期の場合って代わりの方を見つけにくいじゃないですか。もしかしたら逆に困るのかなと思いました。

○及川教育長　教員の場合は取るとすれば、ほぼ１年ですね、１年単位で取ります。それも年度の初めからわからない場合、当然お子さんがいつ生まれるかにもよりますから年度の初めからということになりにくい場合もあるんですけども、代わりの方を探すときに例えば５月からとか６月からっていうと、なかなか４月からその期間まで待っていてくれっていうのかっていうとそれもまた難しいので、神奈川県としては昨年度からですかね、大体７月ぐらいまでに産休に入る予定の方については、その代わりの方を４月から雇用するっていうふうにしているんですね。そうすると、代わりでやってくださる方も安心して仕事に就けるというふうなことにもなるので、若干探しやすさという点では、ハードルが下がるのかなっていうふうに思うんですけどもそういう手立てもとっていただいているというところであります。

そのほかいかがでしょうか。

○川名委員　鎌倉市立由比ガ浜中学校の校舎がスーパープレハブで５億円の金額というのは、どのぐらいの規模感なんでしょうか。

○及川教育長　２階建てで１階にはスタッフルームや保健室を含めて４部屋程度ですけども、奥にトイレや階段、中央にエレベーターがあったりということで、２階にも普通教室程度の広さの部屋が４部屋ぐらいあります。

○村山委員　部屋数はどのくらいですか。

○及川教育長　部屋数としてのカウントの仕方がなかなか難しいんですけども、部屋としては例えば相談室のような小部屋がいくつかあったりですね、いろんなことで対応できるような小さい部屋があります。子どもたちが使う本当に広い１教室分ぐらいの部屋がそのままというのは、１、２階合わせて４部屋か５部屋くらいの規模でした。

そのほかいかがでしょうか。

○村山委員　観閲パレードのことですが、初声小学校の生徒は何名ぐらい参加されたんですか。

○及川教育長　応募は 20 名程度ということでしたが、参加いただいた児童は 17 名で今年は子どもたちも消防車に乗って参加しました。

そのほかいかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　よろしいでしょうか。

なければ次に進みたいと思います。次第５「報告事項」に入ります。

⑴　令和７年 12 月の後援名義等使用について、報告をお願いいたします。

〇浦西教育総務課長　　それでは、令和７年 12 月の後援名義等の使用について御報告いたします。

資料１ページ、資料１を御覧ください。

令和７年 12 月に資料記載の事業について、教育総務課関係２件の後援名義等使用申請があり、承認をいたしました。報告は以上でございます。

〇及川教育長　　報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

（質問等なし）

〇及川教育長　　なければ次に進みたいと思います。

⑵　学校給食費の改定について、報告をお願いいたします。

〇武田学校給食課長　　学校給食課より学校給食費の改定につきまして報告いたします。

資料２ページの資料２を御覧ください。それでは資料２に基づき説明いたします。

学校給食食材費につきましては、物価高騰が続き、１週間当たりの食材費は想定金額を現状超えております。さらに今後も物価高騰が継続すると見込まれることから、給食費を改定し、現状及び将来的な食材費の上昇も踏まえ、１、令和８年４月から月額で小学校 5,000 円を 5,700 円、中学校 6,200 円を 6,500 円に改定することといたしました。

２、改定額決定までの経緯ですが、令和８年１月８日に三浦市学校給食会臨時総会を開催し、令和８年４月からの給食費改定額に関する意見について、改定額の月額は妥当であるとの意見が多数あり決定をいたしました。

委員からは額改定の要因、給食費補助の継続の質疑及び意見がありました。本日、教育委員への報告を経て、今後保護者あてに通知したいと考えております。

３、令和８年４月からの給食費徴収に関する考えですが、令和８年度につきましては、国・県の給食費負担軽減交付金として、月額 5,200 円及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当し、保護者負担はいただかない方向で財政当局と調整しております。

以上で説明を終わります。

〇及川教育長　　報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

〇石渡委員　　学校給食会の臨時総会で給食費の値上げが妥当だということで決まったということですが、令和８年度から国・県の給食費負担軽減交付金が出るということは、給食費に関する保護者負担はないということでよいのでしょうか。

〇鈴木教育部長　　まず国と県から給食費の負担軽減交付金が出ますので、これは小学校分についてでございます。

小学校分につきましては5,200円が国・県から出ますので、今回5,700円に値上げしますと500円の差額が出るわけです。この500円につきましては、まだ決定ではございませんけれども、できれば物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当したいというふうに考えております。

中学校分につきましては、国・県からの交付金はございませんので、どのようにして補助していくかというのは現在検討中でございます。中学校分につきましては、全く取らないということではなくて、どのようになるかというのを今調整しているという段階でございます。

○及川教育長　今報道されている小学校のいわゆる給食費無償化については、国・県の交付金で5,200円分は賄える。三浦市の場合は、報告があったように来年度から5,700円に値上げするため、500円の不足が出る。それについては、部長が説明した方向で検討を進めています。

中学校は国・県の交付金がないため、三浦市も給食費の半額補助を昨年度から始めています。今後も半額補助の継続ができるよう検討をしていきます。

よろしいでしょうか。このことに関して何かございましたらお願いします。

○石渡委員　国会はこういう状況なのでね、予算の成立が遅れると思いますが、そういう意味では来年度の給食費は、小学校においてはいただかないということでよろしいでしょうか。

○鈴木教育部長　令和８年度の当初予算が成立しないと何ともお答えしにくいところではありますけれども、先ほど申し上げた国・県からの交付金を差し引いた500円について、何とか市で補助できないかと今考えているところですので、まだ今の段階で必ずそうなるということは申し上げられないということです。

○及川教育長　小学校について不足分の500円だけを徴収する形もあるわけですが、市として何か手立てを取れないかっていうことで協議をしていきたいと思っております。

中学校についてもこれまでの半額補助の継続も含めて検討中です。できなければ、全額保護者負担ということになるかもしれませんし、今年度と同様に半額補助できるかもしれないということで、今のところは検討中と申し上げておきます。

そのほかいかがでしょうか。

○川名委員　給食の臨時総会の資料を委員と共有しておいたほうがいいと思います。価格改定は小学校が700円、中学校は300円金額が上がります。小学校が中学校よりも高い700円になったことについて今御説明をいただけたらと思います。

○武田学校給食課長　これは前回の給食費の改定を令和６年11月に行い、給食費の月額を小学校600円、中学校1,000円引き上げました。その後も物価高騰の継続、特に主食である米飯に値上げが続いておりまして、前回の引き上げ額が少なかった小学校の不足分が増えたことが要因となっております。なお、今回の引き上げ額を加味すると、前回の改定前と比較しますと小中とも同額の1,300円の値上げ額になっております。

○及川教育長　　そのほかいかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　　よろしいでしょうか。

なければ次に進みたいと思います。

次第６「その他の事業」に入ります。

⑴　令和８年（令和７年度）三浦市はたちのつどいの開催結果について、報告をお願いいたします。

○南雲青少年教育課長　　それでは青少年教育課より、令和８年（令和７年度）三浦市「はたちのつどい」の開催結果について報告します。

お手元の資料３ページの資料３を御覧ください。

「はたちのつどい」につきましては、令和８年１月 12 日月曜日の成人の日に三浦市民ホールにて開催いたしました。令和７年 11 月１日現在、三浦市に住民登録されている対象の方 312 人に対しまして、令和７年 12 月１日に案内状を送付いたしました。当日は市外へ転出されている方の出席者を含めて 226 人の参加がありました。昨年の参加者は 257 人でしたので、31 人の減となっております。なお、教育委員の皆様におかれましては、お忙しい中当日の式典に御出席いただきましてありがとうございました。また、令和３年の式典から新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場に来ることができない対象の方やその家族などに向けて、ＹｏｕＴｕｂｅによるライブ配信を過去５回にわたり実施していましたが、今回から録画配信のみを行うことに変更いたしました。動画に関しましては、１月 13 日から配信を実施しておりますが、本日までの視聴回数は 262 回となっています。

説明は以上です。

○及川教育長　　説明は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○石渡委員　　資料にある出席者のところに市外在住参加者を含むとありますが、当日外国の方の出席も数名見受けられました。外国の方や住民登録がない方でも出席することができるのでしょうか。

○南雲青少年教育課長　　受付をする中でいわゆる和装文化とは違う被り物をされた方が２人ほど確認していますが、その方々が住民登録されているかどうかについては確認しておりません。二十歳の方であれば参加可能にしています。これまで確かに外国の方はあまり見受けられなかったので、少し今国際化が進んでいるのかなという感じを受けました。

○及川教育長　　三浦市に住民票がなく、市から案内のはがきが届かなかったとしても、はたちのつどいが開催される情報を得た二十歳の方であれば参加できるということです。

○石渡委員　　あえて積極的に市内で働いている外国籍の方に声をかけているというわけではないのでしょうか。

○南雲青少年教育課長　　そのようなことではございません。

○及川教育長　　そのほかいかがでしょうか。

○及川教育長　　今回の式典終了後に一緒に写真を撮ってくださいと声をかけてくれた女性がいました。その方は私立の学校に通っていたので、今回参加している中に友達はいないけれども参加をしてくれました。はたちのつどいというと、久しぶりに友達と会うというイメージがあり、私も挨拶の中でそのようにお話をしましたが、友達と会うことでなく一生の中で二十歳をお祝いする大切な日というふうに捉えて、参加されることがあるんだなって改めて感じました。そういうことを思って参加してくれたことにありがたいなと思った今年の式でありました。

○廣瀬委員　　そこに立ち会っておりまして、１人で参加されているなと思い、写真を撮りましょうかと声をかけさせてもらいました。それをとても喜んでくれたので、１人で参加される方もいるっていうことを少し頭において、写真の撮影で声をかける等の配慮をしてもよかったのではないかと思いました。

○及川教育長　　声をかけていただいて、あの子にとってはとても良い時間になったのかなと思いますよね。

そのほかいかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　　よろしいでしょうか。

それでは次に進みたいと思います。

続きまして、⑵　第29回三浦市学校給食展の開催について、説明をお願いいたします。

○武田学校給食課長　　それでは第 29 回三浦市学校給食展の開催について御案内させていただきます。

資料４ページ、資料４を御覧ください。

「見て、参加して、考える」～三浦の恵みを生かした学校給食～をテーマとしまして、令和８年２月７日土曜日、午前11時から午後２時まで初声市民センター２階講堂を会場に開催いたします。

内容は展示コーナーと三浦市の学校給食のあゆみや共同調理場での作業の様子等を紹介いたします。ゲーム、クイズコーナーでは、豆つかみ、釣りぼりゲーム、匂い当てクイズなどがございます。給食試食コーナーにおいて、午前11時半から先着200食分を用意いたします。メニューは茜身、めかじきのフライ、しらすのおひたし、きゃべつと鶏肉のみそ汁、ごはん、ヨー

グルトと牛乳です。この献立につきましては、学校給食レシピコンテスト小学生の部の最優秀作品となっております。

なお、広報につきましては、三浦市ホームページ及び公式ＬＩＮＥによる周知と児童生徒の保護者、学校、幼稚園及び保育園等へのチラシの配布を予定しております。

教育委員の皆様につきましては、本日文書により御案内をさせていただきました。

ぜひお越しいただきますようよろしくお願いします。

以上で説明を終わらせていただきます。

○及川教育長　説明は終わりました。

御質問等ございましたらばお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　よろしいでしょうか。

なければ次に進みたいと思います。次第７「その他」に入ります。

事務局からお願いします。

○鈴木教育部長　事務局から報告させていただきます。

学校給食共同調理場の運営についてでございます。

令和６年 11 月 21 日開催の総合教育会議において御協議いただきました、三浦市学校給食の堅持、調理場の抱える課題の解決、効率的な運営体制の確立などの基本方針に基づきまして、今年度、施設更新に係る基本構想の取りまとめを行う予定でしたが、今後行われる市の保有する施設全体の整備や更新のスケジュール、それによる財政負担増の影響により、抜本的な見直しを含む再検討が必要となったため、基本構想の取りまとめは一旦延期といたしました。

担当としましては、老朽化した施設の更新を目指して関係部署と調整を重ねた結果、今後も建替えの検討はしつつ、基本方針にある効率的な運営体制の確立と調理場の抱える課題の解決を図ることを優先に取り組みたいと考えています。

新しい三浦市総合計画の実施計画に定めることとなりますが、令和８年度中に三崎学校給食共同調理場の調理設備を一部更新し、児童生徒の使用する食器・食缶・運搬用ワゴンの交換を行い、令和９年３月末をもって南下浦学校給食共同調理場を廃止し、令和９年４月から三崎学校給食共同調理場１場での学校給食提供を行う予定です。なお、１場化後は、調理環境の改善のための設備更新や施設の長寿命化を目指した修繕に順次取り組むことを計画しております。

報告は以上です。

○及川教育長　説明は終わりました。御質問等ございますでしょうか。

令和６年度の総合教育会議でお話をしたところでありますけれども、新しいものを作るということについては難しい状況になったので、今年度、施設更新に係る基本構想の取りまとめについては延期をします。調理場の老朽化については来年３月に南下浦の調理場を廃止し、三崎調理場１場に集中的に手を入れて長く使えるような環境に整えていくということであります。

○川名委員　　共同調理場を１場にするということはキャパシティも含めて早急にやっていただければと考えておりました。１年かけて三崎調理場のみになるということで、現実的に２か所で調理していたものが１か所になって経費が今までよりも抑えられる分、来年度の給食費が上がることもありますので、保護者負担の軽減等何かありますでしょうか。

○鈴木教育部長　　給食費は保護者からいただいている食材費なので、実際にその調理にかかる費用というのは、これまでも市が負担してきたところであります。

１場化することによってコストが下がる部分もありますが、今調理場の環境が良くないので例えば調理場内にエアコンを設置するですとか、減った分のコストをそういう環境改善にかけられるかなというふうに考えております。

○及川教育長　　今は調理環境があまりよろしくない状況であるので、夏場の調理環境を整える費用に使えたらと思います。

そのほかいかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　　よろしいでしょうか。

なければ事務局からそのほかにありますか。

（特になし）

○及川教育長　　ないようでしたらば、石渡委員から会議の報告をいただいてよろしいでしょうか。

○石渡委員　　冒頭の教育長報告の中でありましたが１月 16 日に令和７年度市町村教育委員会研究協議会研究分科会にオンラインで参加させていただきました。

テーマが２つありまして、学校における働き方改革と公立小中学校の適正規模・適正配置について、文部科学省から協議するポイントの説明を受けた後、それぞれのテーマごとに４名ずつのグループに分かれて話し合いがありました。

働き方改革については文部科学省から給特法の改正に関連して、業務管理の問題をお話されていました。業務管理については、先生方の働き改革における生活の向上、学校生活の様々な課題について説明がありました。特に学校組織のあり方ということで中堅教員がいわゆるミドルリーダーとして様々な場面で機能していくっていうことの大切さみたいなところが説かれていました。学校の核となっていく先生方を養成・確保してくために、生活の向上を進めていく必要がある。そのためにこの給特法の改正があるんだっていうようなことが強調されていたと思います。

すでに御存知のとおり、公立学校の教員は給与の４％分の手当をいただくことで、いわゆる超過勤務の時間給がないのが僕らの若い頃から続いているんですが、最終的にはそれを 10％まで引き上げるそうです。そういった給与改善を行い、職務や負担に応じた働きやすい処遇の実

現を図りながら、教職員の定数改善も手がけていくということで令和 12 年ぐらいまでに中学校においても 35 人学級の編制を段階的に引き下げるというような話もされていました。

どの自治体においてもおおむね似たような形で進めているというふうに思いました。ただし、根本的な部分として学校の現状っていうのが捉えられていないのかなという感じがしました。例えば、私は学校での時間外労働っていうのは、教育ＤＸの導入に伴って、以前は家庭に持ち帰って仕事をしていたのができなくなったため、休日に出勤をしている先生もいますし、それから部活動も大きな問題だなっていうふうに思います。文部科学省はその部分の改善について、学校だけじゃなく、コミュニティスクールの導入を通して地域にも返して考えてもらわなきゃいけないんじゃないかっていうような発言がありましたけども、それは三浦市に当てはまるのかな、厳しいなっていう思いでお話を聞いたりしました。

働き方改革をテーマとしたグループ協議では、北茨城市の教育長さんが司会を務めていただいたんですが、やはり三浦市と似たような大きさの茨城県東海村、それから徳島県の藍住町という三浦市よりも少し小さな自治体の皆さんから報告がありましたけども、やはりどの自治体もいろんな課題を抱えていて、その対応に苦心しているなっていう部分を感じました。

後半の適正規模・適正配置のグループ協議では、統廃合を含めた学校の適正配置ということでの論議がされました。文部科学省の事前説明では、標準として 12 学級以上 18 学級以下の規模がある学校を整備していきたいというのはあるけれども、自治体がそれをどう主体的に捉えて扱っていくかという話がありました。

協議には茨城県のかすみがうら市、埼玉県の幸手市の教育委員が参加され、岡山県の赤磐市の方は欠席でしたが、いろんな話を聞く中で公立の小中学校の適正配置というのも、その地域の実態によって難しいのかなっていうのを感じました。かすみがうら市は、人口は三浦市と同じぐらいなんだけれども、都市部以外の人口減少がかなり進んでしまって苦しい状況にあるんだということでした。三浦市としては丁寧に御理解をいただきながら、教育委員会として様々なことを考えながら進めているということのお話をしました。やはり自治体ごとでその実態や状況に応じて、教育行政のあり方を考えた適正配置をしなきゃいけないんでしょうねということで意見交換もさせてもらいました。

以上です。

○及川教育長　ありがとうございました。

御質問等ございましたらばお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

（質問等なし）

○及川教育長　よろしいでしょうか。

働き方改革にしても学校の適正化にしても、結局はいろんな社会情勢の変化がありますけれども、子どもたちに提供する教育の質をいかに高めていけるのかということを中心に進めていかなければいけない。働き方改革というのは、そのことによって教育の質が高められるかということが最終的な目的ですし、適正化にしても質の高い教育を子どもたちに提供していくためには、どういうふうにしていったらいいのかということを常に考えていかなければいけないと思うんですけど、なかなか進めるのは難しいと思いました。

ありがとうございました。長時間の協議お疲れ様でした。

〇及川教育長

そのほか委員の皆さんからございますでしょうか。

（特になし）

〇及川教育長　　よろしいでしょうか。

ないようでしたら、以上で「その他」を終了いたします。

〇及川教育長　　以上をもちまして、令和８年１月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

◇　午後４時00分　閉会　◇